



「未来を拓く、あなたの温暖化対策 優良事例ポータル-タラノア Japan」  
気候変動への取り組み事例（ストーリー）

## 花王株式会社

「さまざまなステークホルダーと“いっしょにeco”」

<https://www.kao.com/jp/>



## 質問 1 – 我々はどこにいるのか

パリ協定および 1.5°C/2°C 目標の達成に向けて、これまでに実施した気候変動対策やその成果について記述してください。

花王は、世界の人々の喜びと満足のある豊かな生活文化を実現するとともに、社会のサステナビリティに貢献することを使命としています。そして環境負荷ゼロの暮らしをめざし、環境を経営の根幹に据え、製品ライフサイクル全体にわたりステークホルダーの皆さまと環境保全に取り組む決意を「環境宣言」で表明しています。

気候変動への対応については、

- ・2020年までに、製品ライフサイクルを通じた CO2 排出量を 35%削減（売上高原単位、2005 年比）
- ・2020年までに、Scope 1 + 2 の排出量を 35%削減（売上高原単位、2005 年比）

という目標を掲げ、以下のような活動を推進している。サステナビリティデータブックを通じ毎年、進捗状況を公表している。

### 【環境適合設計】

製品ライフサイクル全体の CO2 排出削減に対する評価（LCA）の実施も定めた「環境適合設計要領」を 2009 年から運用。新製品や改良製品の発売を決定する際に、製品が環境に関する基準を満たすことを確認している。

花王の製品の CO2 排出は、原材料調達工程（スコープ 3・カテゴリー 1）、製品使用（同・カテゴリー 11）、製品廃棄（同、カテゴリー 12）が太宗を占めていることから、製品開発が重要であることを認識し、イノベーター的な研究開発を継続的に実施している。

その例として、洗たく 1 回あたりの CO2 排出量を約 22%削減できる「ウルトラアタック Neo」を 2009 年に上市。初めてすすぎ 1 回を提案した衣料用洗剤で、いまや洗濯機に「すすぎ 1 回」ボタンが標準装備されるまでになり、洗濯スタイルそのものを変化させた製品。すすぎ 1 回を可能にする製品は、日本、中国、シンガポール、オーストラリアなどで提供。さらに、すすぎ性を改善する技術を食器用洗剤や全身洗浄剤などへも拡張。

産業向け製品でも、顧客の皆さまが使用する段階の CO2 を削減できるコピー機用トナーや鋼板洗浄剤など数多く提案している。

### 【容器包装】

家庭から排出されるごみの 50%以上を占める容器包装の量を削減するため花王では、フィルム容器を用いたつめかえ製品の提案を積極的に行っている。2016 年には、よりつめかえ易い「ラクラク eco パック」を提案。これをつけかえ製品として利用できる「スマートホルダー」も併せて提案している。

### 【生活者啓発】

製品使用・廃棄に伴う CO2 負荷を削減するため、生活者啓発を注力。その一環で「COOL CHOICE」に賛同している。

### 【スコープ 1・2】

スコープ 2 削減に向け、再生可能電力の調達を欧州から開始。2018 年には日本にも展開を開始。非化石電力証書の利用も始める。さらには自家消費太陽光発電パネルを、国内拠点から開始し、現在 7 拠点到に広がっている。

### 【サプライヤー様との協働】

サプライヤー様にも CO2 削減活動を実施していただくことを目指し、CDP SC プログラムに参加。重要サプライヤーに対し、自社の気候変動対応状況の回答を依頼し、自主的な改善を求めている。



## 質問 2 – どこへ行きたいのか

パリ協定および 1.5°C/2°C 目標の達成における中長期のビジョンや目標について記述してください。

### 【環境負荷ゼロの暮らしを目指して】

花王は、数多くの先進的な製品をお届けし、世界の人々の清潔で衛生的な暮らしに貢献してきました。そしてその製品の環境負荷を考える際、製品ライフサイクル全体を対象とし、地球環境の改善に貢献してきた。

今後も、本質研究に基づく独創的シーズを活用した環境負荷ゼロ製品の開発・提案を世界に先駆けて行っていく、同時に、同じ思いを有する仲間づくりを進め、地球 1 個分の暮らしの実現に向けて貢献していく。

この実現に向け、スコープ 1・2 や製品ライフサイクルを対象に、SBT イニシアチブの認証取得を視野にいれ、例えば 2030 年や 2050 年などの中長期目標の設定を行う。

### 【環境適合設計】

花王の製品のライフサイクル CO<sub>2</sub> 排出量の大幅に削減するためには、製品使用工程（スコープ 3・カテゴリー 1 1）の削減が必須。その手段として、本質研究に基づく新たな機能を持つ洗浄成分の開発・提案を行い、洗浄・すすぎ工程で使用される水量を徹底的に削減した製品を引き続きグローバルで提案していく。

### 【容器包装】

プラスチック使用量を大幅に削減できるフィルム容器をグローバルに展開を図ることで、気候変動と海洋ごみ問題などの多くの課題解決につなげていく。加えて、使用済みフィルム容器をリサイクルする活動により循環型社会の構築に貢献していく。

### 【生活者啓発】

気候変動対策は企業だけではなく全てのステークホルダーの取り組みが重要であるとの認識の下、花王製品を使用される生活者や未来を担う青少年を中心に、啓発活動を引き続き実施していく。

### 【サプライヤー様との協働】

サプライヤー様が CO<sub>2</sub> 排出量削減を実施するためには、まず気づき、測定し、活動を開始するというステップを踏まえることを確認済。主要サプライヤー様を中心にそれらのステップを進めていくための情報提供などのサポートを行っていく。



## 質問3 – どうやって行くのか

パリ協定および1.5°C/2°C目標の達成のための取り組みのなかで、これまでに得られた具体的な解決策や経験、さらに今後実現したいアイデアについて記述してください。

### 【スコープ1の削減】

天然ガスなどの化石燃料をカーボンニュートラル化するためのバイオメタンが世の中に広く普及することが必要。また、製造技術のイノベーションが必要であると認識。

### 【スコープ2の削減】

自家消費目的の太陽光パネルの設置などを実施しているが、設置場所には限界がある。再生可能電力などのカーボンフリー電力を安価に入手できる社会インフラ整備が必要。

### 【環境適合設計】

洗浄製品の製品使用時のCO<sub>2</sub>負荷のためには、使用する水量を削減することが有効であることを確認している。これを実現できるイノベティブな高機能活性剤の開発が必要。

### 【容器包装】

プラスチック使用量を大幅削減可能なイノベティブなフィルム容器を開発し、世界中に拡大することで、気候変動と海洋ごみ問題などの多くの課題解決につながると認識。

### 【消費者啓発】

花王の製品は広く生活者にご使用いただいていることから、生活者の環境意識向上、ライフスタイルの変革につながる啓発活動をさまざまなステークホルダーが協働で実施することが重要。

### 【“いっしょにeco”の更なる推進】

スコープ3を削減するためには、自社努力だけでは限界があることを認識。サプライヤー様、消費者、NPO/NGO、政策立案者などの様々なステークホルダーといっしょに活動を行うことで、効果の最大化を目指す。

これらは、気候変動のみならず、水、海洋、パートナーシップなど複数のSDGs目標に貢献できる活動であると認識している。